

5.29 全関西学生 京大時計台前集云(30)  
⇒ 全関西労学総決起集云(60 京都四山音楽堂)

として我々の側に。て軍国化路上と斗争する。

それらの帝國主義攻勢を、反帝斗争の高揚をもって

撃退すること。この帝國主義の展開、他民族抑圧

帝主義の心臓部に、すくなく陣地を構築せ

ようである。反帝斗争の拡大深化でもって、

帝國主義再編の具体化、その中に垣見られる日帝の

世界戦略と斗い抜く中で、社会主義社会の建設を担つ

る口独の主体である口レタリヤ、へげ五ニを不断に形

成し、あらゆる諸斗争の中に國際主義を貫き、

口・へげを貫徹し抜くことである。(68-69年生共斗

運動の総括の基軸は、このレーニンの課題に他ならな

い。

釜ヶ崎の日雇いの若者男の若者は、52反

帝政治集会の席上こう語った。「昔は、我

々な、マンボへ賃金値上げを言うとき、口

不満なら出ていけ、安に朝鮮人や部落民を

雇つたら出ていけ、奴らは、どんなに安く

とも文句は言わない」と言われたものだ。

こんなことか許されてもいいのか。俺た

ちは日雇いだな男の若者だ。大阪城を建て

たり博覧場を作り、高速度道路を作ったのは

俺たちだ。その中で、朝鮮の仲間や、被差

別部落の仲間が、多くの仲間が、資本に殺

された。また、俺たちは、ベトナム同様の

荷役をさせられる、しなし、俺達の敵は、

ベトナム人ではない、朝鮮人でもないし、

部落民でもない、敵は、資本家だ。ア

メリカの、日本の、世界の資本家なのだ。」

へうへうへう

釜ヶ崎、反帝学生戦線

5/28



「我々黒人に対する血の虐殺を前にして、白人が直ちに銃をと  
けなうなうば、われわれは階級同盟の甘い夢をこれ以上見つづ  
けぬわけにはいかない。われわれには人種戦争を、残されてい  
る。」(エルドリッジ・クリーバー)

6月22日の安定期限切れと自動延長という形で、軍新勢力との対決を遂げ、6月段階を政治的無自覚態<sup>ル</sup>城内平和路線によつて乗り切らんとしているのは、単に6月斗争のホコ底を鑑うせよつというこののみならず、現実には穩然たる流れとして進行している帝<sup>国</sup>主義再編を、国会での審議を遂げ行政ベースで之と具體化せんがためである。しかし、インドシナ革命斗争の高揚は、一方で東アジア革命に系統的に成長・転化する可能性を胎み、たゞに他方で、これに恐怖する日帝の反革命的対応をアシヤ会議への積極的参加として日<sup>本</sup>の下に現れた。日本は東南アジアの政治問題に大きな現実的興味を示しはじめたのである。経緯のあとを政治、そのあとは……。

「アシヤ会議」を決めた契機にインドシナ回<sup>社</sup>への政治的介入の資格を手に入れた日本<sup>帝</sup>国主義は、①ロン・ノル人民産政政权の政治的支持 ②本<sup>帝</sup>への全面的な援助の遂行 ③米帝を補完しつつ、同時に

発売中!!  
二百冊